

商工会法施行45周年記念式典

趣 旨

現下の中小企業を取り巻く環境は、消費者ニーズの多様化、少子・高齢化の進展、原油価格の高騰、雇用情勢の低迷等依然として厳しい状況にある。

一方、近年になって国は中小企業基本法の抜本的改正、二度にわたる商工会法の改正により中小企業政策の転換、商工会の再編等を目指している。

こうした中、我々商工会は地域唯一の総合経済団体として、地域振興、商店街の活性化、中小企業の健全な発展のみならず、経営革新や創業支援にも積極的に取り組むとともに、商工会組織の機能強化等により、尚一層地域の期待に応えていくことが求められている。

ときあたかも本年は、昭和35年6月10日「商工会法」が施行されて45周年の記念すべき年に当たり、法施行45周年の記念式典を挙行し、商工会事業に尽力された幾多の功労者等の功績を讃え、会員意識の高揚と商工会組織の強化、事業活動の更なる活発化に向け決意を新たにす。

自立する商工会の創造に向けて決意を新たに ―商工会法施行四十五周年記念式典及び記念講演会が 盛大且つ華やかに開催される―

商工会法施行四十五周年記念式典及び記念講演会が、去る十月二十一日（金）、仙台市「江陽グラウンドホテル」を会場に、本部東北通商産業局長（代理・泉中小企業課長）、浅野宮城県知事（代理・遠藤産業経済部長）、伊藤宮城県議会議長（代理・小野寺産業経済委員会委員長）、中野正

志・秋葉 賢也衆議院議員をはじめ、関係機関の方々多数の来賓を向かえ、県下四十商工会の代表二百余名参加のもと、盛大に開催された。

式典は、菅原副会長の開式の辞に始まり、三浦会長は式辞にて、昭和三十五年に商工会法が施行されて以来、地域

唯一の総合経済団体として経営改善普及事業、地域振興事業と、まちづくりの担い手としての使命を果たして参りました。商工会組織も平成十五年度の広域連携に始まり合併へと進み、当初の六十九商工会から四十商工会へと再編され、新たな期待と役割のもとに、中小企業の力強い躍進と商工会の地域経済社会に果たす役割を再認識し、自立する商工会の創造に向けて更なる



三浦会長挨拶

決意を表明する旨の式辞を述べた。

次に表彰が行われ、宮城県知事表彰に八名と五団体が、宮城県商工会連合会長表彰に百八十名及び十五団体の方々がそれぞれ受賞され、日下みやぎ北上商工会長が受賞者を代表して謝辞を述べた。

引き続き行われた記念講演会では、今年本県を本拠地に華々しくデビューした新規プロ野球球団、東北楽天ゴールデンイーグルスのチームアドバイザー、(株)楽天野球団マーティ・キーナート氏により「日本のスポーツはどこへ行くか」―東北楽天ゴールデンデ



記念表彰授与

イーグルス誕生秘話」と題し講演いただき、同氏はTEAMのそれぞれの頭文字に、Togetherness＝一緒に引く張る Esteem＝尊敬 Enthusiasm＝情熱 Attitude＝心構え Mental toughness＝強い精神力と、語句をあてはめ、日本の野球は指導者（リーダー）が問題。組織においても、一緒に引く張る尊敬できるリーダーが組織の力を何倍にも大きくする。と、力強く熱弁を頂いた。

最後に天野副会長が閉会の挨拶を述べ、盛会のうちに終了した。



熱弁を奮うマーティ氏